

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
- (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
- (ホ) 本書のご提示がない場合
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります)
- (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
- (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商 品 名	AM/FM ステレオダブルカセットレコーダー			★お買い上げ日:	年	月	日
型 番	RCS-W877M	品 番	07-9726	保証期間: 本体1年間(お買い上げの日から)			
お 客 様	★お名前 様						
	★ご住所 〒 ー						
	電話 ()						
修理メモ							
販 売 店	★住所 店名 電話						
	(印)						

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-9726A

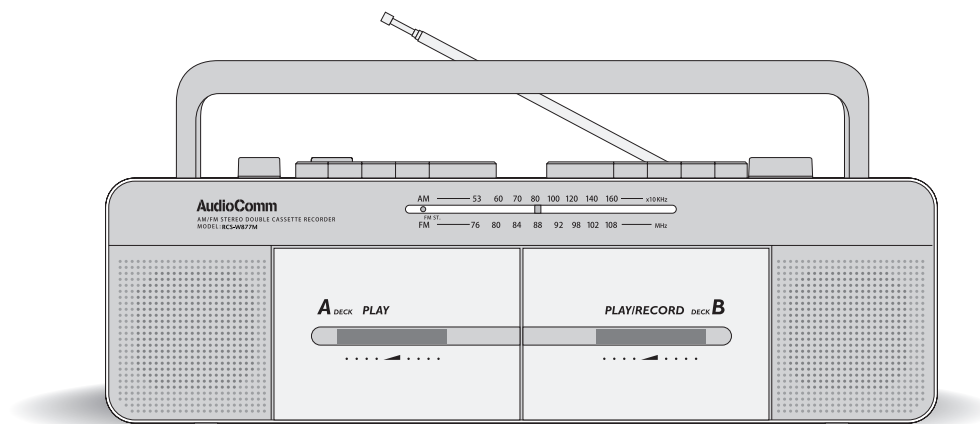
AudioComm®

取扱説明書

AM/FM ステレオダブルカセットレコーダー

型番: RCS-W877M

保証書付



このたびは、AudioComm®AM/FM ステレオダブルカセットレコーダーをお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。

“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。”

また、お読みになった後も、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

目 次

免責事項	1
著作権について	1
安全上のご注意	2~3
電源について	4~5
カセットテープについて	5
各部の名称	6
ラジオを聴くには	7
テープを聴くには	8
カラオケとして使うには	9
ラジオの音を録音するには	10
ダビング録音をするには	11
マイク(別売)を接続して音声を録音するには	12
カラオケを録音するには	12
ヘッドホンの使用	12
故障かなと思ったら	13
お手入れ方法	14
主な仕様	14
保証書とアフターサービスについて	14
保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間および経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

著作権について

放送やレコードその他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

絵表示の使用例



この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は感電注意が描かれています。)



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は分解禁止が描かれています。)



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)

警告

 コンセントから抜く	万一、煙が出ている、変なにおいや音があるなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 禁止	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。
 コンセントから抜く	万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 コードを交換する	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。
 コンセントから抜く	万一、内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 水かけ禁止	浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない ●火災や感電の危険があります。
 コンセントから抜く	万一、内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 接触禁止	雷が鳴り始めたら、安全のため本機および電源コードに触れない
 分解禁止	本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。	 感電に注意	本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
 禁止	海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。	 禁止	コードを敷物などで覆わない ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。

警告		
 電池に注意	乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。 本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。	 禁止
 禁止	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。	
本製品を使用時は必ず付属の電源コード(ACコード)を使う。 また、付属の電源コード(ACコード)は絶対に他の製品には使用しない ●付属の電源コード(ACコード)は本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。		

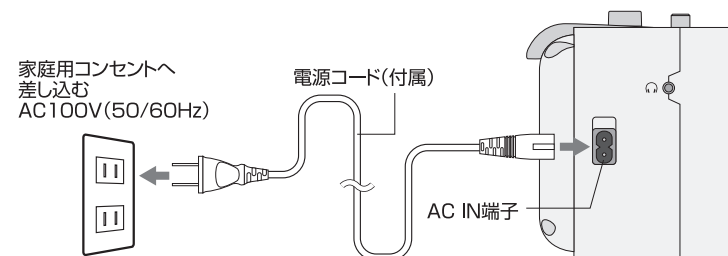
⚠ 注意		
禁止	調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。	コンセントから抜く
禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	禁止
禁止	電源コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	禁止
禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	アンテナに注意
禁止	ほごりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。	コンセントから抜く
音量は小さく	電源を入れる前には、音量を最小にする ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。	指を挟まれないように注意
乾電池の電極性に注意	乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる ●間違えると電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	音量に注意
禁止	指定以外の乾電池は使用しない。 また、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	コンセントから抜く
お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く ●感電の原因となることがあります。		禁止
濡れた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。		禁止
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。		禁止
持ち運びするときは、アンテナを折り畳む ●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。		禁止
移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。		禁止
お子様がカセットドア内に手を入れないように注意する ●けがの原因となることがあります。		禁止
ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない ●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。		禁止
旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。		禁止
電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニター等)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。		禁止

電源について

- ⚠ 電源コードを抜き差ししたり、電池を出し入れするときは、ファンクションスイッチを「テープ／切」にして電源が切れた状態で行ってください。
- ⚠ 電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用コンセントで使うには

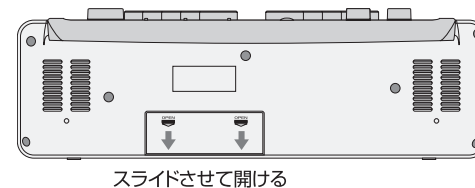
付属の電源コードを本機左側面にあるAC IN端子へ接続した後、家庭用コンセントへプラグを差し込んでください。
※大切な録音をするときは、付属の電源コードのご使用をお勧めします。



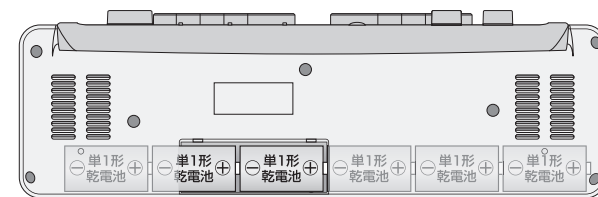
※付属の電源コードは本製品専用です。本製品を家庭用コンセントでご使用の際には必ず付属の電源コードをお使いください。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

乾電池(別売)で使うには ※本体から電源コードを外してください

1. 本機裏側の電池ぶたを矢印の方向に押しながらスライドさせて開けてください(下図参照)。
2. 単1形乾電池6本(別売)を、本体記載図柄の順番に、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます。
3. 乾電池を入れ終わったら、電池ぶたを元通りにしっかりと閉めてください。



スライドさせて開ける



単1形乾電池6本(別売)

注意 種類の異なる乾電池や、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。液もれの原因になり、本機が故障する場合があります。

※乾電池で使うときは、電源コードが本機裏側のAC IN端子から抜かれていることをお確かめください。接続されたままですと乾電池では使用できません。
※乾電池交換の目安として、乾電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなったりします。このような状態になったら、乾電池を新しいものと交換してください。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

火中への投入、加熱、分解をしない／ショートさせない／新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池(マンガンとアルカリ)を混ぜて使わない



注意

⊕⊖の表示通りに入れる／指定以外の乾電池を入れない／使い切った乾電池はすぐに取り出す／しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

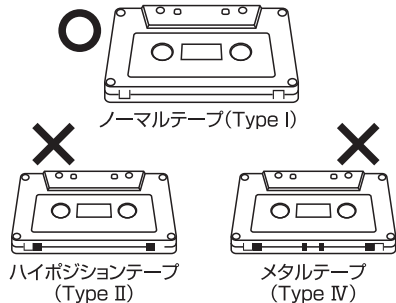
- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

カセットテープについて

使用できるテープの種類

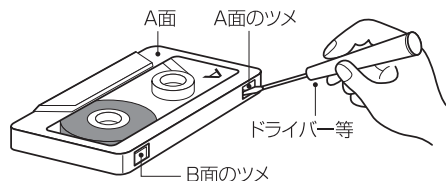
ノーマルテープ(TYPEI)をお使いください。ハイポジションテープ(TYPEII)やメタルテープ(TYPEIV)には対応しておりませんし、ご使用になると録音・再生ヘッドを傷める原因となります。またノーマルテープの場合でも、C-90以上の長時間テープは通常のカセットテープに比べてテープそのものが非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれる等のトラブルの原因となりますので使用しないでください。

エンドレステープには対応しておりません。



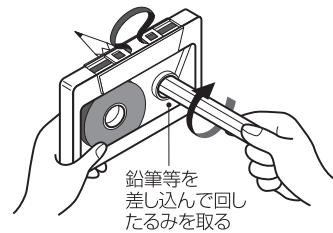
録音した内容を誤って消さないために

カセットテープの背面にある誤録音防止用のツメをドライバー等で折ります。



カセットテープのたるみについて

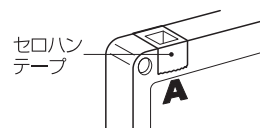
ご使用前に、テープのたるみを取り除いてください。たるんだ状態で使用すると、テープが機械に巻き込まれ、使えなくなることがあります。



- テープ両端のリード部分(透明部)は録音できません。セットする前に送っておいってください。
- カセットテープを入れたまま放置するとからみや巻きつきの原因となります。必ず本機から取り出して保管してください。
- テープの損傷を避けるため、大事なテープやオリジナルテープはダビングし、ダビングしたテープを本機でお使いください。

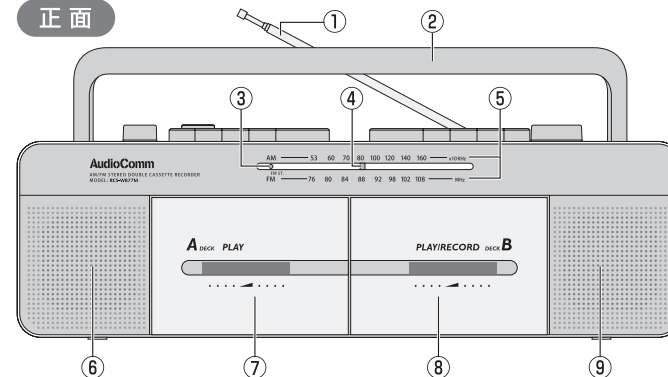
ツメを折ったカセットテープに もう一度録音するには

ツメを折った穴をセロハンテープ等でふさぎます。

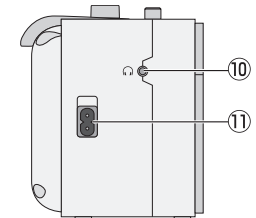


各部の名称

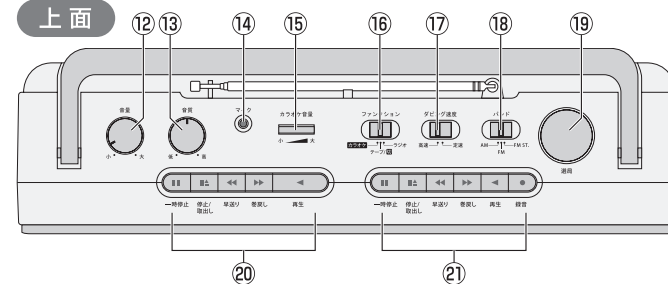
正面



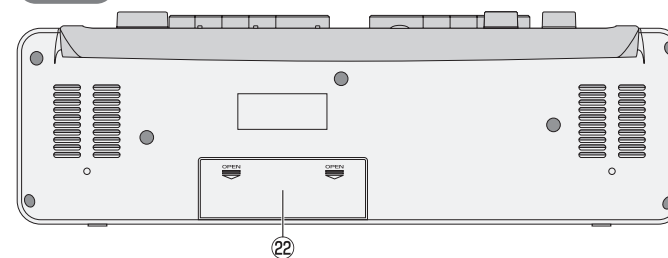
左側面



上面

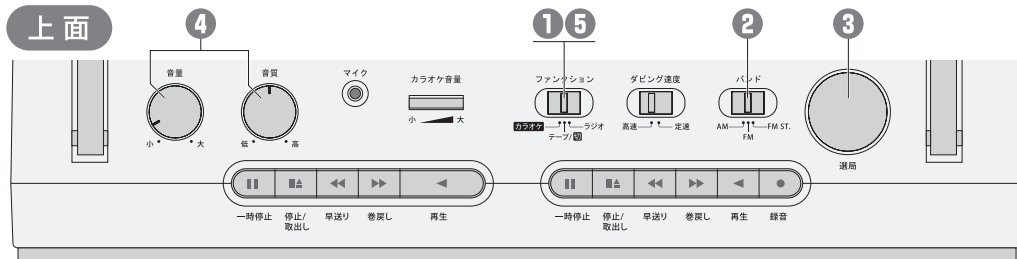


背面

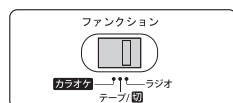


- ① FMロッドアンテナ
- ② ハンドル
- ③ FM ST表示ランプ
- ④ 選局指針
- ⑤ 選局目盛り
- ⑥ 左スピーカー
- ⑦ カセットデッキA
- ⑧ カセットデッキB
- ⑨ 右スピーカー
- ⑩ ヘッドホン端子
- ⑪ AC IN端子
- ⑫ 音量ツマミ
- ⑬ 音質ツマミ
- ⑭ マイク端子
- ⑮ カラオケ音量ツマミ
- ⑯ ファンクション切換スイッチ
- ⑰ ダビング速度切換スイッチ
- ⑱ バンド切換スイッチ
- ⑲ 選局ツマミ
- ⑳ カセットデッキA操作ボタン
- ㉑ カセットデッキB操作ボタン
- ㉒ 電池ばた

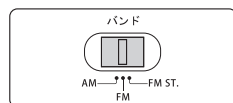
ラジオを聴くには



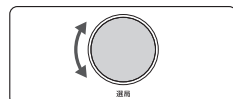
- 1 ファンクションスイッチを「ラジオ」に合わせます。



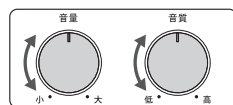
- 2 バンド切換スイッチで「AM」「FM」「FM ST. (ステレオ)」のいずれかを選びます。「FM ST. (ステレオ)」を選択すると、ステレオ放送を受信したときに、FM ST. 表示ランプが点灯します。



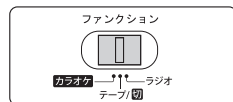
- 3 選局ツマミを回して聴きたい放送局を選局します。



- 4 音量ツマミ/音質ツマミでお好みの音量・音質に調節します。



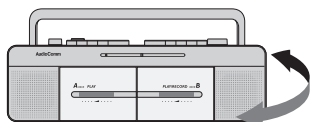
- 5 ラジオを切るときは、ファンクションスイッチを「テープ/切」に合わせます。



受信状態をよくするには

●AM放送の受信

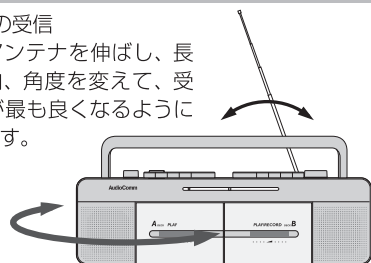
本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



※テレビや蛍光灯の近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離れてご使用ください。

●FM放送の受信

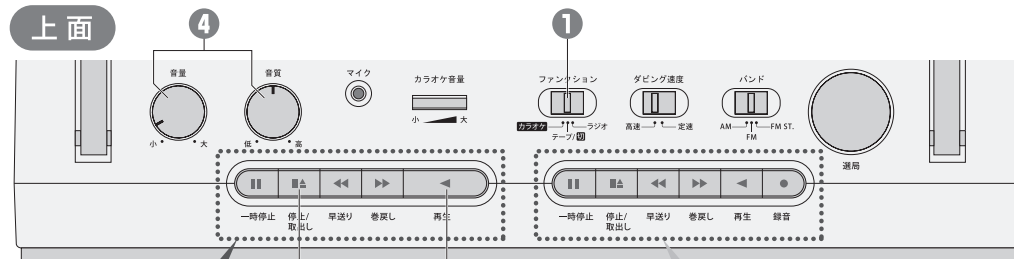
ロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。



注意

- ・持ち運ぶときは、目をついたり危険ですので、FM ロッドアンテナを縮めた状態にしてください。
- ・近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意してください。

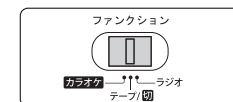
テープを聴くには



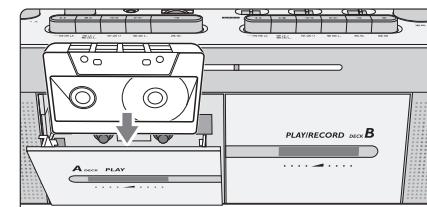
カセットデッキA操作部

デッキBで再生するときは、こちらのボタンで操作

- 1 ファンクションスイッチを「テープ/切」に合わせます。



- 2 本機はダブルカセットデッキですので、デッキA、デッキBのどちらでもカセットテープを再生できます。デッキA、またはデッキBの停止/取出しボタンを押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく装着し、カセットドアを確実に閉めてください。



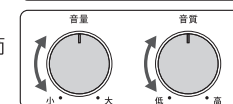
【正しい装着方法】

カセットテープは聴きたい面を手前に、テープの見える方を上にして装着してください。テープは右から左へ走行します。

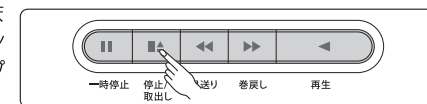
- 3 再生ボタンを押してテープを再生します。



- 4 音量ツマミ/音質ツマミでお好みの音量・音質に調節します。



- 5 テープを止めるときは、停止/取出しボタンを押します。テープが止まった後、再度、停止/取出しボタンを押すと、カセットドアが開きます。カセットテープを取り出して、カセットドアを閉めてください。



コンティニュアスプレイ(連続再生機能)について

本機は、デッキAからデッキBへの連続再生が簡単にできます。

- 1 先に聴きたいテープをデッキAに、次に聴きたいテープをデッキBにセットします。
- 2 デッキAを再生します。
- 3 デッキBの一時停止ボタンを押した後、再生ボタンを押して一時停止状態にします。デッキAのテープ片面の再生が終わると、デッキBの一時停止が解除され、再生が始まります。



カラオケとして使うには ※別売のマイクが必要です

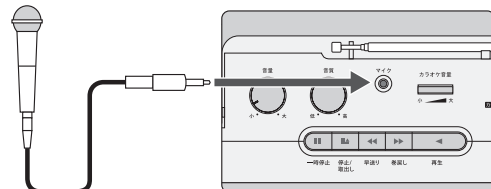
市販φ3.5mmミニプラグ対応マイク(ダイナミック型)がご使用になれます。

⚠ 近隣への迷惑にならないよう音量には十分ご注意ください。

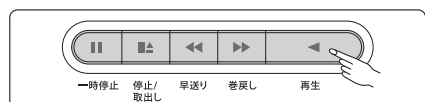
- 1 ファンクションスイッチを「テープ／切」または「カラオケ」に合わせます。



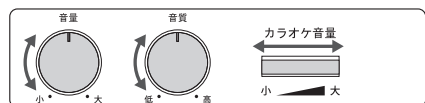
- 2 別売マイクのプラグ(φ3.5mmミニプラグ／ダイナミック型)を本機のマイク端子に差し込みます。



- 3 デッキA,またはデッキBに再生するカセットテープを装着します。カセットテープが装着されたデッキの再生ボタンを押してカラオケを再生します。



- 4 カラオケ(カセットテープ)の音量・音質は、音量ツマミ、音質ツマミで調整します。カラオケ(カセットテープ)に対する相対的なマイクの音量はカラオケ音量ツマミで調整します。



- 5 カラオケを終えるときは、停止／取出しボタンを押して再生を止めます。再度、停止／取出しボタンを押すとカセットドアが開きます。



カセットテープを装着せずに、デッキAまたはデッキBの再生ボタンと一時停止ボタンを押して上記の操作をすれば、拡声器として使用できます。

カセットデッキの機能について

カセットデッキ部操作ボタンの機能一覧

一時停止……………録音や再生を一時中断します。再度押すと再び録音や再生を開始します。
 停止／取出し……………押すとカセットドアが開きます。早送り・巻戻し・再生・録音中に押すとそれらの動作を停止します。
 早送り……………テープを左側のリールに早送りします。
 巻戻し……………テープを右側のリールに巻き戻します。
 再生……………テープを再生します。
 録音……………テープに録音します(デッキBのみ)。このボタンを押すと、再生ボタンも一緒に押し込まれ、録音状態になります。

※録音・再生・早送り・巻戻しは、必ず停止／取出しボタンを押してテープ走行を停止させてから行ってください。

セミオートストップ機能

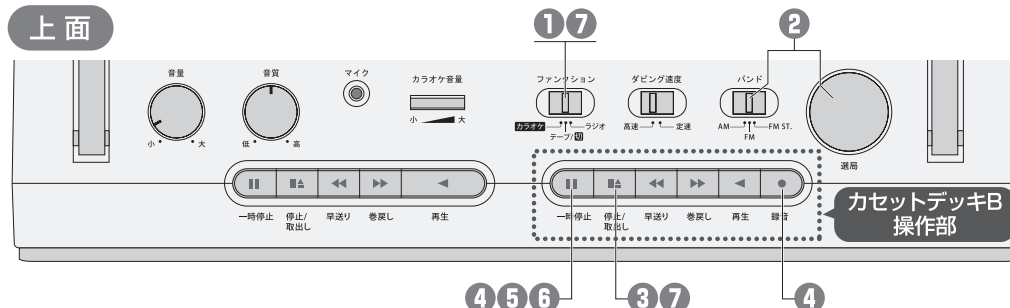
再生／録音時にテープが最後まで行くと、自動的に操作ボタンが上がり動作終了します。ただし、早送り／巻戻しでは自動的に動作終了しません。故障の原因となることがありますので、早送り／巻戻し時は必ず停止ボタンで動作を終了させてください。

テープの録音を消去するには

録音されたテープの上から新たな録音をすると、前の録音は消去されます。

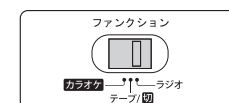
ラジオの音を録音するには ※デッキBのみ録音ができます

上面



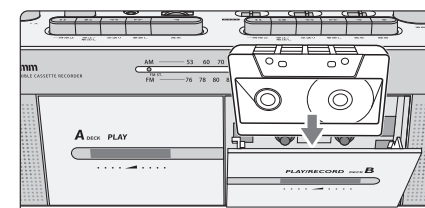
※録音レベルは、自動調節で一定に録音されますので、録音時に音量ツマミ／音質ツマミを操作しても録音に影響はありません。※大切な録音をするときは、付属の電源コードのご使用をおすすめします。

- 1 ファンクションスイッチを「ラジオ」に合わせます。



- 2 録音したいラジオ放送を受信します(P.7参照)。

- 3 デッキBに録音可能なカセットテープを正しく装着します(録音する面を手前に、テープの見える方を上にして装着します)。



- 4 デッキB(以下同)の一時停止ボタンを押した後、録音ボタンを押して録音一時停止状態にします(録音ボタンを押すと再生ボタンも同時に押されます)。



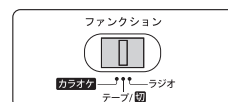
- 5 再度、一時停止ボタンを押すと録音が始まります。



- 6 録音を一時的に止めるには、一時停止ボタンを押します。再度押すと、録音を再開します。



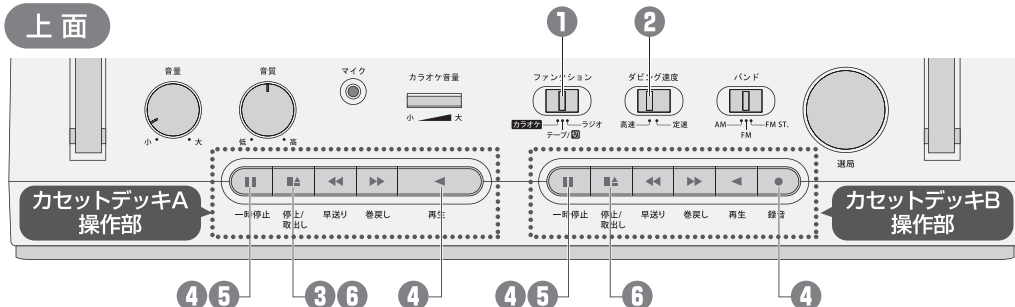
- 7 録音終了時は、停止／取出しボタンを押します。その後、ファンクションスイッチを「テープ／切」に合わせます。



ダビング録音をするには

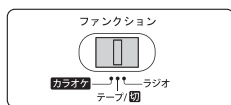
本機では、デッキAからデッキBへのダビング録音(シンクロダビング)が簡単にできます。

上面

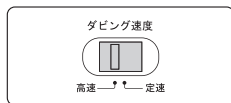


- ※録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量ツマミ/音質ツマミを操作しても録音に影響はありません。
- ※大切な録音をするときは、付属の電源コードのご使用をおすすめします。
- ※ダビング録音時は、マイク音声の混入防止のため、必ずマイクのプラグをマイク端子から抜いてください。
- ※ダビング速度切換機能は、ファンクションスイッチが「テープ/切」時のみ機能します。

- ファンクションスイッチを「テープ/切」に合わせます。

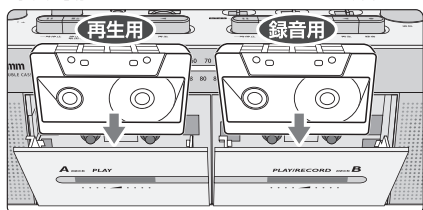


- ダビング速度切換スイッチで高速か定速を選びます。



高速の場合、定速の約1.6倍速でダビングできます。
※テープにより異なります。

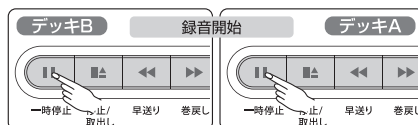
- デッキAに再生用カセットテープを、デッキBに録音可能なカセットテープを正しく装着します。



- デッキAの一時停止ボタンを押した後、再生ボタンを押します。次にデッキBの一時停止ボタンを押した後、録音ボタンを押します。



- デッキB、次にデッキAの順でそれぞれの一時停止ボタンを押してダビング録音を開始します。



- ダビング録音を終了するときは、デッキAとデッキBの停止/取出しボタンを押します。

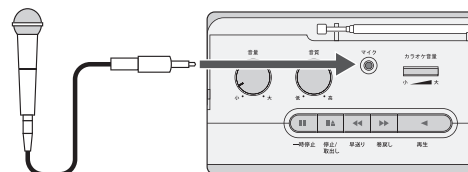


マイク(別売)を接続して音声を録音するには

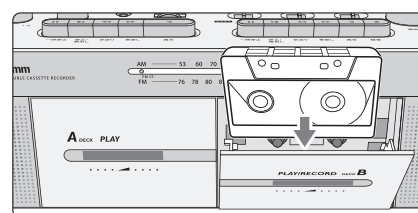
- ファンクションスイッチを「テープ/切」に、ダビング速度切換スイッチを「定速」に合わせます。



- 別売マイクのプラグ(φ3.5mmミニプラグに対応)を本機のマイク端子に差し込みます。



- デッキBに録音可能なカセットテープを正しく装着します(録音する面を手前に、テープの見え方を上にして装着します)。



- デッキBの一時停止ボタンを押した後、録音ボタンを押して録音待機状態にします(録音ボタンを押すと再生ボタンも同時に押されます)。



- 再度、一時停止ボタンを押すとマイク録音が始まります。



- マイク録音を一時的に止めるには、一時停止ボタンを押します。

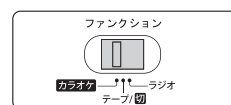


- 録音を終了するには停止/取出しボタンを押します。



カラオケを録音するには

- 別売マイク(φ3.5mmミニプラグに対応)をセットし、ファンクションスイッチを「カラオケ」に合わせます。



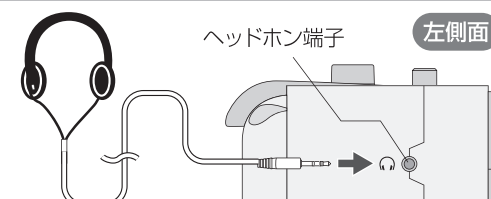
- 前ページ「ダビング録音をするには」のステップ3以降と同じ手順でダビング録音を開始し、同時にマイクに向かって歌います。録音終了の操作も「ダビング録音」のステップ6と同じです。

ヘッドホンの使用

ヘッドホンをご使用になるときは音量を上げすぎないようにご注意ください。

別売のヘッドホン(φ3.5mmミニプラグ)をヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聞こえなくなります。

- 付属の電源コードでご使用時、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聴こえる「ブーン」という音)が耳障りになるときがあります。その場合は乾電池にてご使用ください。



シンクロダビング(再生連動録音機能)について

ステップ4~5の代わりに、デッキBを録音待機(一時停止・録音ボタンを押した状態)にした後、デッキAの再生ボタンを押すと、自動的にデッキBの一時停止が解除され、録音が始まります。

故障かなと思ったら

本機の調子がおかしいときは、点検・修理をご依頼になる前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにご連絡ください。

症状	チェック項目
動作しない	電源コードがはすれて（ゆるんで）いませんか？
	乾電池が正しく入っていますか？
	乾電池が消耗していませんか？
音が出ない	音量ツマミの音量が最小になっていませんか？
	ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか？
	ファンクションスイッチが適切な位置になっていますか？
カセットドアが閉まらない	カセットが逆向きではありませんか？
	操作ボタンを押していませんか？
テープが走行しない	一時停止ボタンが押してありませんか？
テープ走行が不安定	テープがたるんでいませんか？
	乾電池が消耗していませんか？
テープが機械に巻きつく	ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか？
	テープがたるんでいませんか？
	カセットドアがきちんと閉まっていますか？
録音ボタンが押せない	録音しようとするカセットの誤消去防止用のツメが折れていませんか？
	カセットドアがきちんと閉まっていますか？
	カセットが入っていますか？
前の録音を完全に消去できない 録音した音がひずむ	ハイポジション（TypeⅡ）やメタルポジションテープ（TypeⅣ）を使っていますか？
	消去ヘッドが汚れていませんか？
雑音が目立つ、音が震える 音飛びがする、高音が出ない	ヘッドやピンチローラー、キャプスタンが汚れていませんか？
	テープがたるんでいませんか？
	乾電池が消耗していませんか？
ラジオ時に雑音が入る	近くで携帯電話を使用していませんか？ （携帯電話を本機から離して使用してください。）
	テレビや蛍光灯の近くで AM 放送を受信すると、AM 放送に雑音が入ることがあります。またテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
録音できない	ヘッドが汚れていませんか？
	誤消去防止用のツメが折れていませんか？
マイクの音が出ない	ファンクションスイッチが適切な位置になっていますか？
	マイク音量ツマミが最小になっていませんか？

お手入れ方法

●本体のクリーニング

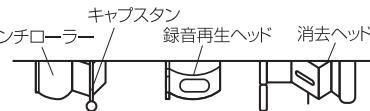
本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れのひどいときは布をぬるま湯か、薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いたあと、から拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しない

●カセットヘッド部分のクリーニング

ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーなどテープと接触する面の汚れは雑音や不安定なテープ走行の原因となります。定期的に（約20時間のご使用を目安に）、市販の綿棒に無水アルコールかクリーニング液を少し含ませてヘッド部分の汚れを丁寧に拭き取ってください。このとき、綿棒がキャプスタンやピンチローラーに巻き込まれないようご注意ください。



主な仕様

●共通部

定格出力	1.2W+1.2W
周波数特性	100 ～ 8000Hz
スピーカー	75mm×2
電源	AC100V 50 / 60Hz
	DC9V 単 1 形乾電池×6 本(別売)
定格消費電力	10W
外形寸法	幅 410×高さ 130×奥行 110mm (ハンドルを収納した状態)
重量	約 1800g(乾電池含まず)
乾電池の寿命 (目安)	ラジオ再生時
	アルカリ乾電池：約 130 時間
	マンガン乾電池：約 50 時間
	テープ再生時
	アルカリ乾電池：約 40 時間
	マンガン乾電池：約 20 時間 (音量中位で使用した場合)

●カセットデッキ部

トラック方式	4トラック 2 チャンネルステレオ方式
ワウ・フラッター	0.35% 以下

●チューナー部

受信周波数	FM：76～108MHz
	AM：530～1605kHz
アンテナ	FM：ロッドアンテナ
	AM：内蔵フェライトバーアンテナ

付属品	電源コード
	取扱説明書／保証書

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。